

交通安全ニュースレター

発行：公認 浦和中央自動車教習所
電話：048-878-1141

NEWホームページも見てね！[浦和中央教習所](#) [検索](#)



慣れない状況なので、これを読んで事故防止しましょう！



ついでちゃん

慣れない分 時間運転に 余裕持つ

不慣れな分、
危険を理解し事故防止！

日々、冷え込みが厳しくなってきたが、みなさん、体調はいかがでしょうか？

さて、寒い時期には降雪や積雪、路面の凍結など夏場とは違う危険性が発生します。

そのため、ちょっとしたハンドルやブレーキなどの操作ミスで大事故につながりま

す。慣れない条件での運転なので、危険性をしっかりと理解し、事故防止をしましょう。

スタッドレスタイヤや
タイヤチェーンを装着して、安全運転しよう！



すすむくん



上の写真は、「アイスバーン」という状況です。滑りそうでコワですよネ！！



いもこちゃん

凍結しやすい場所を
知っておくのが大事！

路面が凍結している場所は、発見がしにくく、非常に滑りやすくなります。そのため事故が起きてから、凍結していたことに気が付いたということも多々あるようです。

ですから早めに発見することが重要になります。また、凍結しやすい場所を知っておくことも大事なことでしよう。

凍結しやすい場所は、

トンネルの出入口

日陰になっていているところ

橋の上や高架

交差点の手前などブレーキをよく踏むところ

停止線などの道路標示

などがあります。これらの場所を通行するときには、細心の注意を払って、運転しましょう。

また、雨上がりの深夜にも凍結する恐れがあるので、十分注意してください。

転ばぬ先の安全運転

8大ポイント！

“転ばぬ先のつえ”と云いますが、次の8つ安全運転ポイントを確認して、事故を起こさない運転をしましょう。

急行動はしない。

* 急発進

* 急ブレーキ

* 急ハンドル

速度を控えめに。

ブレーキは早めにかける。

車間距離を多めにとる。

わだちを選んで走行する。

坂道は慎重に。

優先意識は持たない。

合図は早めに出す。

後輪が横滑りした時の措置のとり方！

ブレーキは絶対に踏まない。

（急ブレーキは厳禁）

後輪が滑った方にハンドルを切つて車を立て直す。

左に滑る 左に

右に滑る 右に切る

徐々にアクセルを踏んでいく。

（一気に踏まない様）



インストラクターからのひとこと

雪道や凍結道路について、取り上げました。皆さんの想像以上に車のコントロールが難しくなるので、参考にして下さい！歩く時にも、靴につける滑り止めがあるので、活用してください！

危険を知って、行動をすることが大切です！



野田インストラクター

《運転前の7つの注意点》

時間に余裕を持って早めの行動を。

車に積もった雪はちゃんと落とす。

灯火類がちゃんと見えるように。

凍結したガラスはしっかりと溶かす。

履物の雪はちゃんと落とす。

スタッドレスタイヤやチェーンを装着する。

携行品の確認を。

寒いけど、出発前が、大事なことです！！





交通安全 うららちゃん

第5回 バレンタインデーの贈り物



夜、くらい道を走る時もこれならあんしん!

空気入れのところに差し込むだけでライトに反射してキラキラ光ります。

ご希望の方に無料でお送りいたします!

反射材でできたシールです。自転車の後方などにお貼り下さい。サイクルキャップと反射シールのどちらがご希望かもお知らせ下さい。

暗くなるのが早いこの時期、これらの反射材を付けて、交通事故の未然防止にご協力下さい!

電子メールかお電話でご請求ください。
 ホームページ [浦和中央教習所](#) [検索](#)
 Eメール info@ucds-net.co.jp
 でんわ 048(878)1141